

令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校技術】

1 模擬授業の内容について

試験は次のことについて行う。

- ・材料と加工の技術について、作業を伴った模擬授業
- ・けがきの作業に関わる導入と課題化、けがきの手順の説明と示範

2 実施方法等について

<タイムテーブル>

0 5 15 20 33 37 40

説明	試験				
	模擬授業の準備 (思案時間含む) (金工室)	移動 ・ 準備	模擬授業 (木工室)	生徒役か らの質問	試験官か らの質問

- ・指定された時刻に、指定された会場に来室する。
- ・試験の説明を受ける。
- ・試験を開始する。制限時間（10分）内に、模擬授業の準備（思案時間も含む）を行う。思案の内容を会場に用意されたメモ用紙に残し、模擬試験会場に持ち込み、それをもとに試験に臨むこともできる。メモ用紙は提出不要とする。
- ・模擬授業のために模擬授業の準備の時間に、作業手順等をホワイトボードに記入して、模擬試験会場に持ち込んでもよい。
- ・制限時間終了後、5分以内に模擬授業会場へ移動し、準備を完了する。
- ・移動・準備の5分経過後に模擬授業を開始する。模擬授業は13分間である。模擬授業を行った後、生徒役からの質問に回答をする。（質問、回答を含めて4分以内）
- ・試験官からの模擬授業に関わる質問に対する回答をする。（3分以内）

3 模擬授業「材料と加工の技術について、作業を伴った模擬授業」の想定

- ・生徒の実態及び想定している授業は次のとおりとする。

<ul style="list-style-type: none"> ・中学校第1学年の生徒である。 ・身の回りのものを整理・整頓する課題解決のために、マルチラックを設計し、製作している。けがきの工程になったため、手順について示範をして、生徒に手順を説明する。 ・生徒は、前時までマルチラックの材料取り図を作成しており、材料取り図どおりに木材にけがきをしたいという願いをもっている。 ・本模擬授業は、①本時の導入と課題化、②けがきの手順の説明と示範までとする。 ・前時まで、さしがね及び直角定規の各部の名称の説明は行っているが、さしがね及び直角定規を使ったけがきの手順についての説明は行っていない。
--

- ・模擬授業の準備会場にあるホワイトボードに、模擬授業で使うけがきの手順等の説明を書いてもよい。ただし、生徒へ提示する「本時の目標（本時の課題）」は、模擬授業の準備の時間に書くのではなく、模擬授業会場にある黒板に模擬授業中に書くようにする。
- ・示範では、木材に材料取り図（図 A）に書いてある仕上がり寸法線（4面）及び切断線（4面）をけがきをする。
- ・模擬授業の時間（導入、課題化、けがきの手順の説明と示範）は「13分間」とする。

4 模擬授業を実施するにあたっての持ち物・服装

- ・持ち物は、鉛筆及び消しゴムなどの筆記用具とする。
※材料、さしがね、直角定規、材料取り図は会場に準備している。
- ・服装については、模擬授業の内容を意識したものとする。必要があれば更衣室の利用も可能である。各自、指定された時間までに更衣を済ませて模擬授業に臨むようにすること。

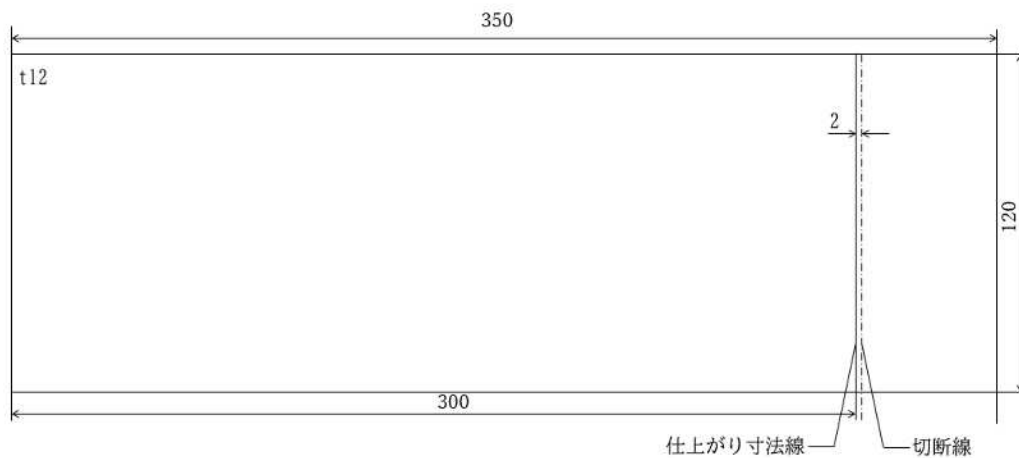


図 A 材料取り図